



「希望の牧場」牧場主 吉澤正巳さんに聞く

3月13日 被災地支援講演会 開催報告
「希望の牧場」は今 ~ 私たちにできることは? ~
美浜保健福祉センター4F 大会議室にて

◀ 吉澤正巳さん：東日本大震災後の福島原発事故の放射能の影響で避難地域となった福島県浪江町（現在は解除）で避難することなく牛を飼っている酪農家です。

●事故直後の様子

事故が発生してからの数日間で避難地域は広がり続け、不安とパニックの中で避難した浪江町の住民たち。例えば、マニュアルがなかったため、肝心の放射線の線量計を役所の建物から持ち出さなかったなど、行政の対応が細かく報告されました。そして直後に東京電力に抗議に行ったり、飼っている牛の処遇を巡って戦い続けた様子が語られました。

●会場に持ち込まれた写真の数々

お話を聞きながら、原発事故直後に海側から撮影した大変貴重な原発建屋の写真、殺処分命令が出されてそのままのたれ死んでいった他の牧場の牛の生々しい写真、現在の「希望の牧場」の牛の写真などを回覧しました。

●原発はいらない、復興は遠い

「現実には厳しい、でも何もやらなければ変わらない。思ったら行動を起こすことが大切だ。」と強く訴えておられました。

吉澤さんは高校生相手にお話をしたことがあり、その高校生たちが、直後に発生した熊本地震に対して自ら支援活動を始めたとのこと。

元気をもらおうお話でした。



●4つのブース

お話を聞いて、それぞれが行動に移すヒントになるようなブースを設置しました。

- ★原発に頼らない電氣を使いたいと思った人のための「生活クラブでんき」の案内。
- ★現地を訪問したい人のために、これまで実施してきた福島へのボランティアツアー写真。
- ★昨年の講演会で出会った山武市 小林牧場の近況報告（写真展示）。
- ★「希望の牧場」を紹介した絵本の販売。

●うれしいカンパ

急きょ、八街市在住の生活クラブ生協の生産者でもある農家から被災地支援に使ってほしいとほうれん草と人参を預かり、当日カンパして頂いた方にお礼として渡すことができました。



今回の講演会で、特にこれからの日本の担い手である若い世代が、これからのエネルギー政策をどう考えたらよいのか、震災に対してどう向き合えるかを考えるきっかけになることを狙いました。残念ながら若い世代の参加は少なかったのですが、アンケートには「聞く機会がもてて良かった」「改めて考える機会となった」という意見が寄せられました。今後も私たちは3.11を忘れない取り組みを継続していきます。

虹と風のマルシェ

「虹と風のマルシェ」は、VAIC-CCI本部がある「生活クラブいなげビレッジ虹と風」が年に4回開催しているお祭りです。隣接するグリーンプラザ園生(団地)の公園をお借りして開催しています。地域住民が集い、お互いに交流できる場として、「生活クラブいなげビレッジ虹と風」のさまざまな機能を地域に伝える機会となっています。

開催に向けてビレッジの構成団体が集まり、企画を話し合い役割分担。地域の福祉団体や自主活動グループなどに声をかけて開催します。お知らせを兼ねて近隣に配布される『虹と風のたより』は、ビレッジの様子を地域に伝える手段となっています。2012年4月28日に第1回を開催して以来6年が経過し、年々、地域にも浸透してきています。



春

4月「桜さんぽ」

公園の桜の花を楽しみながら開催する春のお祭りです。グリーンプラザ園生の敷地と公園には見事な桜が咲きそろいます。桜吹雪の舞う中、有志による美しい音楽や野点(お茶席)を楽しみます。



夏

6月「キャンドルナイト」

夏至の頃に開催。灯りを消し「スローな夜」を過ごします。1,000個以上のビンに参加者みんなでキャンドルを灯します。会場ではビンの絵付けもできます。子ども達も大勢参加して、自分で絵付けをしたビンにキャンドルを入れて喜ぶ姿があちこちで見られます。



秋

10月「稲毛区民まつり出店」

いつもの場所から外に出て、近くの穴川中央公園で開催される稲毛区民まつりに出店します。地域の方々と多くの交流が生まれています。



冬

12月「餅つき」

毎年大人気のイベントです。石臼で自分でついたお餅は最高です。会場には子どもたちの「ヨイショ!」という声が響きます。あんこ・きなこ・海苔のおもちは、丸めたそばからどんどん売れていきます。



4月14日(土) 「桜さんぽ」～春の音楽会～ 開催

曇り空の肌寒い日でしたが、開会時にはグリーンプラザ園生自治会の皆さんを中心としたラジオ体操が行われました。音楽に気づいた地域の方が徐々に集まり始め、音楽会が始まるころには人出が多くなってきました。

音楽会

虹の街 1F 公園側にある「フォレストカフェぽぽと」では、音楽会が開催されました。軽快なリズムの演奏・合唱に観客は大喜びでした。

フォレストカフェ
ぽぽと
サッポロ



▲「ハンドベリーズ」によるハンドベル演奏



▲藤原さんによるバイオリンとピアノ演奏



▲「文月」によるコーラス

お茶席

これまで室外で開催していた「野点」を2Fの会議室^{そら}宙に設け、ゆったりといただくお抹茶を楽しみました。(来場者 40 名)



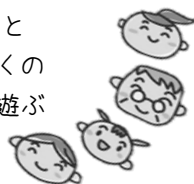
売店

虹の街の焼きそば、からあげ&ポテトなどの販売や、福祉作業所の出店もあり、古本やピーナッツバター、焼き菓子が人気で祭りを盛り上げていました。



食堂

2F スペース虹で開催した「地域食堂」と「子ども食堂」のコラボ企画では、多くの方々が食事を楽しんだり、子ども達が遊ぶ姿が見られました。



さあ、次は6月23日土曜日(予定)の「キャンドルナイト」です。キャンドルの灯りがゆれる光景は、それはそれは綺麗です。☆☆☆★夕涼みがてら、ぜひお出かけください。



こどもカフェ 3rd プレイス虹

●去年小学1年生だった頃、ほとんど皆勤で来所してくれていた女子3人組。4月になってからは、なんだか得意気な顔でやってくる。



「今日は6時間授業だったからカフェに来るのが遅くなっちゃった。2年生は、も〜大変なんだから♪」

●いつもは弟君と一緒にきて5時で帰るSちゃん
「今日はお母さんと弟はお出かけで遅いから6時までいるね。家でひとりはおつまらない。ねえ、トランプしようよ♪」
と近寄ってくる。

一人ひとりがそれぞれのペースで、こどもカフェを“居場所”にしてくれているんだなあ、と実感できる場面は意外に多い。「世相」はともあれ、こどもカフェが求められている現状は、こどもの態度・行動から十分に感じとることができます。

私には2人目の孫が間もなく誕生する予定ですが、自分自身の子育てが終わった今、こどもたちは『希望・宝物』なんだ…としみじみ慈しみながらお手伝いさせていただいていることに感謝しています。

(K.Tさん スタッフ歴2年)

千葉発

地域出会いの場
あみいこ
amico

New!

園生の地域出会いの場「あみいこ」の“男の料理教室”では、ひとりでも気軽に作れる料理の基本を学んでいます。そのメニューから1品ご紹介していきます。

男の料理教室



【今年のテーマ】糖質カット料理

ロールキャベツのクリーム煮

(1個分 263kcal)

Point

牛乳より糖質量が低い生クリームを使います



＜材料＞ 8個分

合いびき肉… 400g

キャベツ … 外の葉から10～16枚

玉ねぎ … 1/3個

A [乾燥パン粉…大さじ4・卵…1個]
塩…小さじ1/3・こしょう…少々

B [白ワイン…大さじ3・水…2カップ]
固形コンソメ…1個

生クリーム … 1/2カップ

塩・こしょう … 少々

- ＜作り方＞ ① キャベツは熱湯で2分ほどしんなりするまでゆで、水に取り、芯の部分は麺棒などで軽くたたく。大きい葉は1枚、小さい葉は2枚1組にしておく。
- ② ボウルに、みじん切りの玉ねぎ・ひき肉・Aの材料を入れてよく擦り混ぜる。8等分にして細めの俵型にまとめる。
- ③ ①に②を置いてきつく包み、周りをベーコンで巻き、巻終わりを爪楊枝で止める。
- ④ ③がきっちり入る鍋にバターを溶かし、③を入れ、全体を軽く焼いたら、Bを加え落し蓋をして30分ほど煮る。途中、煮汁が少なくなったら水を足す。
- ⑤ 生クリーム・塩・こしょうで味をととのえる。

ハイ！出来上がり♪



会員の皆様へ

会費の銀行口座引落とし開始のご案内

日頃より当法人の活動にご理解とご支援を賜りまして感謝申し上げます。

さて、この度、会費納入方法に銀行口座引き落としを選択できるようになりました。

引き落とし日：毎年9月20日

口座登録手続きは6月から開始

この機会に、ぜひお申込みいただきたくご案内申し上げます。今後も会員の皆様からのご支援を力に、地域のために尽力してまいります。

★お申込み・お問い合わせは 043-290-8015 (矢野) まで



会員の皆様へ

第10回通常総会のご案内

【日時】2018年6月9日(土) 13:30～

【会場】いなげビルレジ虹と風 2F 地域活動スペース虹

★傍聴を希望される方は 043-290-8015 (澤村) まで

近所の漫画好き女子高生から漫画を借り、元漫画好き女子だった私が何十年ぶりに復活。本屋の漫画コーナーは中が読めないように帯がしてあるし、値段は上がっていたけど、部活モノ漫画は時代が変わっても人気がある。



今、かるた部の漫画に夢中！
ああ、続きが気になる今日この頃です。(Y.H)

スタッフの
ちょっとカフェタイム